

令和7年10月16日
港湾局計画課

港湾におけるシャーシ・コンテナ位置管理等システムの導入を推進します ～「次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議」を開催します～

モーダルシフト等に対応した内航フェリー・RORO 船ターミナルの機能強化として、シャーシ・コンテナ位置管理等システムの導入を推進していくため、次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議を開催します。

- 内航フェリー・RORO 船による輸送は、近年のトラックドライバー不足等によるモーダルシフトの受け皿となるとともに、災害時に他のインフラ機能が停止する際に緊急輸送手段として利用可能であるなど、国内物流を維持する上で極めて重要です。
- 2024 年度からのトラックドライバーの時間外労働の上限規制等により、労働力不足の問題が懸念される中、国土交通省港湾局では、令和4～5年度にかけて次世代高規格ユニットロードターミナル検討会を開催するとともに、令和6年度にはシャーシ・コンテナ位置管理等システムの現地技術検証を実施するなど、モーダルシフト等に対応した内航フェリー・RORO 船ターミナルの機能強化に取り組んでいます。
- 引き続き現地技術検証に取り組むとともに、得られた成果等をガイドラインにまとめ周知するなど、シャーシ・コンテナ位置管理等システムの導入を推進し、モーダルシフト等に対応した内航フェリー・RORO 船ターミナルの機能強化を図るため、次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議を開催します。

記

1. 日 時: 令和7年10月20日(月) 10:00～12:00
 2. 場 所: 中央合同庁舎3号館 10階港湾局会議室
 3. 主な議題: (1) 令和6年度現地技術検証結果
(2) 令和7年度現地技術検証の方向性
(3) 内航フェリー・RORO 船ターミナルにおけるシャーシ・コンテナ位置管理等システム導入ガイドライン(仮称)骨子 等
 4. 構 成 員: 別紙のとおり
 5. そ の 他:
 - ・会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶まで傍聴及び撮影が可能です。ご希望の場合は、10月17日(金)17:00までに「hqt-kouwan-kikakuult★gxb.mlit.go.jp」までメールにて所属・連絡先をご連絡のうえ、当日9:50までに会場へお越しください。
 - ※送信の際には上記の「★」記号を「@」に置き換えてください。
 - ・資料及び議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。
- https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk6_000098.html

【問い合わせ先】

港湾局 計画課 企画室 細見、亀井、佐藤

代表: 03-5253-8111(内線: 46336) / 直通: 03-5253-8670

次世代高規格ユニットロードターミナル導入推進会議 構成員名簿

(敬称略・順不同)

◎：座長

<有識者委員>

石黒	一彦	神戸大学大学院海事科学研究科准教授
加藤	博敏	流通経済大学客員講師
福田	大輔	東京大学大学院工学系研究科教授
◎ 根本	敏則	敬愛大学情報マネジメント学部特任教授
小川	雅史	国土技術政策総合研究所港湾・沿岸海洋研究部港湾システム研究室長

<内航海運業者（フェリー事業者、RORO 船事業者）>

佐々木	正美	新日本海フェリー（株）代表取締役常務
下永	智規	（株）商船三井さんふらわあ執行役員
辻	雅裕	阪九フェリー（株）執行役員関西本部長兼泉大津支店長
山口	和志	（株）名門大洋フェリー執行役員
石丸	重孝	オーシャントランス（株）営業企画部長・東京港支店長
楠	肇	栗林商船（株）専務取締役
中越	公一	川崎近海汽船（株）内航定期船第1部・第2部部長
古清水	朗保	近海郵船（株）営業企画部副部長
下地	秀明	琉球海運（株）取締役東京支店長
高梨	祐二	日本通運（株）国内定期船部専任部長

<オブザーバー（国土交通省）>

物流・自動車局 物流政策課、貨物流通事業課
海事局 内航課

<事務局（国土交通省）>

港湾局 計画課